

現職教育資料

◇はじめに	1
1 資料集作成のねらい	1
2 資料集とホームページの概要と特徴	2
3 各資料集等の活用例	3～6
◇おわりに	6



「とちぎふるさと学習」の推進

～ 資料集等の効果的な活用にあたって ～



◇ はじめに



栃木県教育委員会が平成26・27年度に作成し、各学校に配布した二つの「とちぎふるさと学習」資料集があります。

「みんなで学ぼう！栃木県」

「もっと学ぼう！栃木県」

資料のページを開いてみると、栃木県には、これほどまでに豊かな自然や産業、歴史、文化があったのかと、改めて実感できるのではないのでしょうか。

まずは、先生方にそう思っていただくことが、本資料集を活用した「ふるさと学習」の第一歩だと考えています。



本号では、各学校がこれら二つの資料集と「とちぎふるさと学習ホームページ」を継続して活用し、「ふるさと学習」を推進していくために、本資料集作成の経緯等について改めて説明するとともに、授業での活用の仕方等について紹介します。

1 資料集作成のねらい ～なぜ今、ふるさと学習なのか～

(1) 趣旨

第2期教育振興基本計画（H25.6.14閣議決定）の中では、グローバル人材の育成について、日本人のアイデンティティや日本の文化に対する深い理解が前提となることが示されました。

グローバル社会で生きていくためには、諸外国の様々な文化や習慣を理解し、尊重できるようにすることが重要です。しかし、その前に自国の歴史や文化、習慣などに対する適切な理解とそのよさを大切にする心の育成が必要です。

本県の児童生徒に、「ふるさと学習」を推進することは、郷土を愛する心情を育むだけでなく、これからの国際社会を生きる一員として、自他の文化を大切にしようとする態度を育成することにもつながるものです。

(2) 栃木県教育振興基本計画2020 — 教育ビジョンとちぎ — との関連

平成28年2月に策定された本県教育の目指す方向性を示した「栃木県教育振興基本計画2020」の中の、基本施策7において「地域についての理解を深める教育の充実」があり、主な取組(1)に「ふるさととちぎを学ぶ機会の充実」があります。この施策では、「地域の様々な課題に対しても、グローバルな視点から考え、行動することが求められており、その基盤として、地域を理解し愛着を持つことがより一層必要となります。」としており、発達の段階に応じて、地域や日本、さらには世界へと広く目を向けるようにしていくことが必要であると方向付けています。

これは、「とちぎから世界を見つめ 地域とつながり 未来に向かって ともに歩み続ける人間を育てます」という基本理念からも分かるように、基本施策8「伝統や文化に関する教育の充実」、基本施策9「グローバル化に対応した教育の充実」とも関連し、本計画の根幹をなすものといえます。

(3) 「とちぎふるさと学習」資料集の作成に当たって

それぞれの市町では、小学校3・4年生の社会科で使用するため、自然や産業、歴史、文化等についてまとめた副読本を作成しており、それらを基に各学校で地域社会に関連した学習が行われています。副読本の多くには、栃木県について学ぶページがあり、「いちご」、「日光の社寺」、「益子焼」といった本県の代表的な産業や文化遺産等が主に取り上げられています。

他にも、総合的な学習の時間において、栃木県をテーマにした探究的な学習を通して学ぶ機会を設けている学校も多くあります。

県教育委員会では、これまで「とちぎふるさと学習」のホームページを作成し、授業等での活用促進を図ってきました。しかし、児童生徒が授業の中で本県のことを調べたり学んだりする際に、手元に置いて活用できる「栃木県版郷土資料集」のようなものではありませんでした。

これらのことから、栃木県の自然、産業、歴史、文化等と関連を図りながら、小学校3・4年生以降も継続的に、各教科等の学習で活用できることを目指し、本資料集を作成いたしました。

作成に当たっては、小・中学校の先生方、各市町の教育委員会をはじめとする関係諸機関、さらには専門機関である県立博物館、県立美術館、県文書館、県埋蔵文化財センターの方々にも、監修や執筆、資料の収集等、多くの御協力をいただきました。

2 資料集とホームページの概要と特徴

とちぎふるさと学習 ホームページ

【コンテンツ】

- ・ とちぎのひと
- ・ とちぎのもの
- ・ とちぎのこと
- ・ とちぎのかず

【授業に生かせる主な特徴】

- ・ 動画による解説があり、理解を深めることができる。
- ・ 「とちぎのかず」を用いて、各種データによる他県等との比較ができる。
- ・ 活用事例やワークシートが掲載されており、授業の参考にできる。

発達の段階に応じて活用
各教科等の内容と関連させて活用

みんなで学ぼう！栃木県

【コンテンツ】

- ・ 栃木県のページ
- ・ 市町のページ

【授業に生かせる主な特徴】

- ・ 「栃木県のページ」では、主な自然、産業、歴史、文化について書かれているので、本県の概要を知ることができる。
- ・ 「市町のページ」では、「ひと・もの・こと」に分けて様々な情報を掲載しているので、自分の住む市町と他の市町を併せて学ぶことができる。

もっと学ぼう！栃木県

【コンテンツ】

- ・ とちぎの自然
 - ・ とちぎの産業
 - ・ とちぎの歴史
 - ・ とちぎの文化
- * 参考資料「とちぎの百様」

【授業に生かせる主な特徴】

- ・ 国語科や社会科、理科、美術科をはじめ、様々な教科等の学習内容と関連させながら、栃木県の様子を学ぶことができる。
- ・ 貴重な画像や資料が掲載されており、実感を伴いながら学習ができる。

それぞれの資料の特徴を踏まえ、発達の段階や各教科等の内容との関連を考慮しながら、効果的に活用することが望まれます。

3 各資料集等の活用例

ここでは、各教科の内容を扱う際に、「とちぎふるさと学習」の資料集やホームページの内容で、どの部分をどのように関連させればよいかについて、いくつかの例を挙げますので活用の際、参考にしてください。

み … みんなで学ぼう！ 栃木県

も … もっと学ぼう！ 栃木県

HP … ホームページ

(1) 社会科「太平洋戦争」に関する学習（小学校・中学校）

み p.14 「4 とちぎの歴史」年表、 p.27 「鹿沼市」鹿沼空襲

も p.48 Ⅲとちぎの歴史 「人々の暮らしを大きく変えた太平洋戦争」

HP とちぎのこと > とちぎの歴史 > 宇都宮空襲

【授業での活用例】

- 「みんな学ぼう！ 栃木県」の「栃木の主な出来事」やホームページの「宇都宮空襲」の中の「戦争の略年表」で、国の主な出来事と栃木県の出来事を見比べながら、戦争までの歴史の流れを確認する。

1929 (4年)	東武日光線浅草-日光間が開通する	1931 (6年)	満州事変
1934 (9年)	日光・鹿沼・奥鬼怒の三地域が国立公園に指定される	1936 (11年)	二・二六事件
1944 (19年)	東京都からの学童疎開の受け入れを開始する	1941 (16年)	太平洋戦争
1945 (20年)	宇都宮が空襲を受ける (7月12日)	1945 (20年)	太平洋戦争終結

ホームページでは国と宇都宮市の年表が掲載されています。

- 「もっと学ぼう！ 栃木県」の「人々の暮らしを大きく変えた太平洋戦争」で、戦時下の栃木県内の様子について学習する。

2 疎開先での暮らし～塩原温泉～

塩原温泉は、平地とは違って山間部の谷あいの里であり、アメリカ軍の飛行機が攻めてくる危険性が少なく、東北本線を利用して東京との行き来も比較的便利な場所でした。他の地域は、お寺が中心となって児童を受け入れていましたが、塩原温泉では、大きな旅館が軒を連ねていたことから、旅館が疎開先となって児童たちを受け入れました。



現在の塩原温泉の様子



塩原国民学校[塩原旅館]前道路での朝礼



旅館の広間での授業風景

具体的で分かりやすい文章とともに、当時の様子を知る貴重な写真や資料が掲載されています。

- ホームページで宇都宮空襲について調べたり、「みんな学ぼう！ 栃木県」で鹿沼市でも空襲があったことについて学ぶ。

鹿沼空襲（かぬまこうしゅう）

昭和20年7月12日、13日の宇都宮空襲と同日に、鹿沼でも帝国繊維鹿沼工場のある現府所本町や泉町、戸張町、文化橋町などが爆撃を受けました。焼失家屋は256戸。死者9人、重傷者4人、軽傷者14人という大きな被害を受けました。



同日に空襲があった宇都宮のようす

戦争中の栃木県内における、空襲の被害や当時の生活について、より詳しく学ぶことができます。



【発展として】

- ・ 自分の住んでいる地域でも疎開した人々を受け入れていたのか、空襲がなかったのかなどを調べる。
- ・ 日本全国で、空襲を受けた地域について調べ、国内の戦争中の様子について理解を深める。

(2) 理科「火山の噴火や土地の作り(変化)」に関する学習 (小学校・中学校)

み p.6 「1 とちぎの姿」栃木県の地形

も p.4 I とちぎの自然「日光地域の自然」、p.8 「那須・塩原地域の自然」

HP とちぎのもの > とちぎの地質 > とちぎの山と火山

【授業での活用例】

- 「みんなで学ぼう！栃木県」の「栃木県の地形」で、おおまかな栃木県の地形を知り、火山がどの辺りにあるのかを確認する。

栃木県の地形

中央部には広大な平野が広がり、北西部の山地には豊かな自然が残されています。栃木県の自然は、「栃木県の層」^{（注）}といわれる北西部の山地帯、なだらかな山地が続く東部の八溝山地、関東平野の北部である東南の平野部と大きく三つの地域に分けることができます。

北部から西部にかけての山地帯は日光の火山群、霧頭山や釈迦ヶ岳などの峰々からなる高尾山、茶臼岳や朝日岳などが連なる那須五峰といわれる高山がそびえています。

東部の八溝山地は、標高300～1,000mのなだらかな山地です。

日光連山は、県内のいくつかの河川の源に

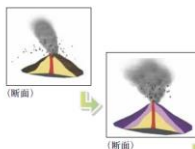


栃木県庁 15 階展望ロビーから見える日光方面の山



標高で色分けされた地図や、栃木県庁から見える山々の画像などで、位置関係等を確認できます。

- 「もっと学ぼう！栃木県」の「奥日光の山々の成立」や「那須・塩原地域の自然について」から、火山の様子を、溶岩の粘性や鉱物の組成などと関連付けながら学習する。



【男体山のでき方(概念図)】

溶岩や火山灰などが繰り返し積み重なることで、男体山がきたと考えられる。断面では層状の地層を見ることができ

【男体山に刻まれた谷(溝)の露頭】
写真のような層状の地層が見られる。
※露頭・・・岩石や地層が直接地表に現れている部分。



男体山

男体山のでき方や特徴的な地形などについて、図や画像を用いて分かりやすく解説しています。

那須・塩原地域の自然

那須(山岳部)・塩原(奥書公園など)について

那須では、茶臼岳、三平嶽、朝日岳などの火山のほか、大佐渡山、鹿又岳など、標高1,800m以上の山々、茶臼岳の南西にある溶原湿原などが特徴的です。気候、自然の状態は奥日光と似ています。

塩原は、植物や動物の化石が数多く産出することで有名です。いずれの地域も日光国立公園の一部になっています。



那須町と那須(山岳部)、那須塩原市と塩原(奥書公園など)の位置

茶臼岳(標高1,915m)
約1万五千年前に火山活動が始まりました。山頂部では、溶岩ドームが見られます。今も活動が続いている活火であるため、土壌層が十分に発達せず、本来見られると考えられるコメツグ、シラビソなどの針葉樹林が見られません。代わって、ガンコウラン、ウラボシなどが生育する火山溶原が見られます。

- ホームページで県内の火山を観察したり、国内の他の火山について調べたりする。

とちぎの山と火山

1. とちぎの山と火山(男体山)
2. とちぎの山と火山(那須連山)
3. とちぎの山と火山(八溝山)
4. 火山の典型的な種類(成層火山)
5. 火山の典型的な種類(複式火山)
6. 火山の典型的な種類(雲山)
7. 火山の典型的な種類(御所)
8. 火山の典型的な種類(阿蘇)
9. 火山の典型的な種類(湯前山)
10. 火山の典型的な種類(有珠山)
11. 火山の噴出物



ホームページでは、県内の主な火山や国内の代表的な火山の形状を動画により観察し、見比べられるようになっています。

【発展として】

- ・ 火山のはたらきによる地形の変化(湖や湿原の成立、塩原湖成層)について、関連した学習をする。
- ・ 「もっと学ぼう！栃木県」の「日光地域の自然」に掲載されている、火山によって成立した環境の中で、どのような動植物が生息しているかなどについて、生物と環境についての学習と関連させることができる。
- ・ 栃木県以外の火山や地形の成り立ちについても調べ、類似点や相違点について考察する。

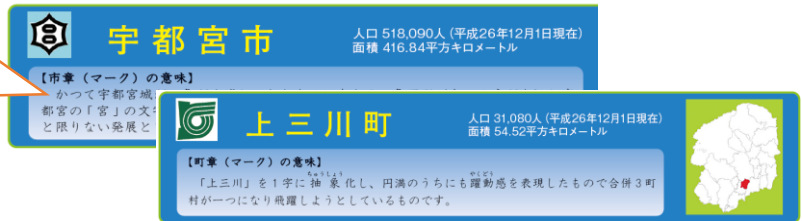
(3) 美術科「マークの制作」の導入時における作品鑑賞の学習（中学校）

み 扉、pp.21～71 市町のページすべて

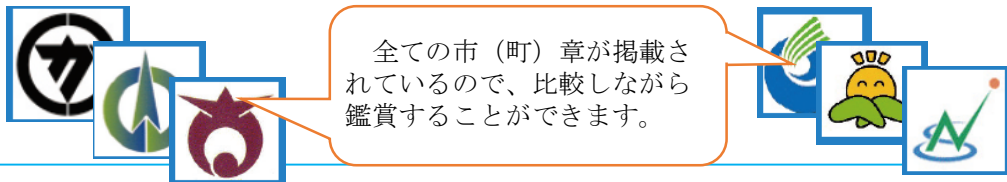
【授業での活用例】

- 県章や各市町の市（町）章について、その意味や成り立ちに込められた思いを知り、どのように形や色彩などで表現されているかについて気付いたことを話し合う。

全ての市町のページには、市（町）章とその意味が記載されています。



- 市町村合併により、新しい市や町が誕生したことで、新たな市（町）章を制定した市町もあることから、古くからある市（町）章と新しくできた市（町）章を比較し、形や色彩から受ける印象の違いなどを基に鑑賞する。



【発展として】

- ・ 他県の県章などとも比較しながら鑑賞する。
- ・ 県や市（町）章以外に、企業のマークや家紋等、身の回りに使われている多くのマークの意味や成り立ちについて、形や色などの工夫だけでなく、社会生活で果たす役割についても話し合う。

(4) その他の活用例

- ・ HP の「とちぎのかず」の各種統計データを利用して、比較したり分析したりする学習を行う。
- ・ 小学校3・4年生の社会科における地域社会に関する学習で、地元の祭りについて学んだ後に、みを使って、他の市町でどのような祭りがあるのか調べる。
- ・ 益子焼を学習する際、も の「とちぎの産業」にある「益子焼」と「とちぎの文化」にある「濱田庄司と民芸運動」を関連させ、産業としての益子焼と民芸品であり芸術作品としての益子焼という両面から捉え、教科横断的に学ぶことで、より深く理解する。
- ・ 総合的な学習の時間で、も の付録の「とちぎの百様地図」を見て、栃木県の自慢できる地域資源を知り、その中から興味のあるものについてより深く調べる。さらに、県外や国外に紹介するプレゼンテーションを作成して、発表する。

(5) 関連がある各教科等の学習内容例

次ページで紹介する一覧は、教員用啓発リーフレット「とちぎふるさと学習のすすめ」に掲載されたものです。

この他にも、単元や題材によっては、総合的な学習の時間や特別活動においても十分活用することができます。

【小学校】

教科	関連がある学習内容の例
国語	物語や詩、伝記を読み感想を述べ合う活動、親しみやすい古文等の学習等
社会	我が国の歴史の学習と栃木県内の地理的環境、産業、文化財等、栃木県の特徴を考える学習等
理科	流水のはたらきや火山の噴火、地震による土地の変化の学習等
図画工作	我が国や諸外国の親しみのある美術作品の鑑賞等
家庭	日常の食事と調理の基礎に関する学習等
道徳	郷土の伝統と文化を大切にし、郷土を愛する心を持つこと

【中学校】

教科	関連がある学習内容の例
国語	古典特有のリズムを味わいながら、古典の世界に触れたり、古典の世界を楽しんだりする学習等
社会	<ul style="list-style-type: none">日本や世界の諸地域の地域的特色を考える学習や身近な地域の諸調査等世界の歴史を背景とした我が国の歴史の大きな流れの学習等
理科	火山活動と火成岩、地層の重なりと過去の様子の学習と県内の自然等
音楽	我が国の伝統的な歌唱や和楽器の学習等
美術	日本の美術の概括的な変遷や作品の特徴を調べたり、鑑賞したりして、日本の美術や伝統と文化に対する理解と愛情を深める学習等
技術・家庭	<ul style="list-style-type: none">我が国における産業の継承と発展やものづくりの技術の学習等地域の食材を生かした調理と地域の食文化や衣生活の学習等
道徳	地域社会の一員としての自覚を持って郷土を愛し、社会に尽力した先人や高齢者に尊敬と感謝の念を深め、郷土の発展に努めること

この他にも、関連の高い教科について具体的な活用例をホームページに掲載しました。
必要な教科を、以下からダウンロードして御活用ください。

栃木県ホーム > 教育・文化 > 学校教育 > 学習指導・学力向上 > 現職教育資料

◇ おわりに

これまで紹介した活用例は、ほんの一例です。実際の授業では、児童生徒に身に付けさせたい資質や能力、学校課題、地域の実態などに応じて教育課程が編成されていますので、それぞれの実情に応じて、本資料集等の積極的な活用を図っていただきたいと思います。

各市町では、それぞれの地域に根差したそれぞれの「ふるさと学習」が行われており、児童生徒に郷土を愛する心情が育まれていることと思います。そこでの学びを基により視野を広げて、地域と県、そして我が国の自然や産業、歴史、文化について深い理解と愛情が持てるようになることを願っています。

平成28年12月21日に公表された中央教育審議会答申では、学習指導要領の改訂に向け、伝統や文化に関する教育の充実を目指し、教育内容の改善が新たに図られた教科があります。このことから、日本の伝統や文化に関する教育を推進していくことが求められています。県教育委員会としては、国の動向を注視しつつ、本県の誇るべき自然、産業、歴史、文化を学ぶ「とちぎふるさと学習」を、今後も推進していきます。